

寄贈図書リスト

最新宇宙学, 栗野論美・福江 純, 四六判, 244 p,
2,100 円, 裳華房
狂騒する宇宙, ロバート・P・キルシュナー著, 井川
俊彦訳, 四六判, 324 p, 2,310 円, 共立出版
最新天文小辞典, 福江 純, 四六判, 446 p, 3,800 円,
東京書籍

天体力学のパイオニアたち, F・ディアク, P・ホーム
ズ著, 吉田春夫訳, 四六判(上巻 206 p, 1,900 円)
(下巻 132 p, 1,600 円) シュプリンガーフェア
ラーク東京
天文年鑑 2005, 天文年鑑編集委員会, 四六判, 900 円,
誠文堂新光社
夜空はなぜ暗い?, エドワード・ハリソン著, 長沢
工訳, 四六判, 404 p, 2,400 円, 地人書館

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致
します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお
申し込み下さい。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿下さ
い。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員(ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・
所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担
当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7.
提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先,
(2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他(待遇な
ど)

国立天文台研究員募集

国立天文台では, 若手研究者に自主的な研究の場を
提供し, 多くの研究成果を上げることを通じて研究者
としての基盤を確立することを主たる目的として下記
により研究員を募集します。

台内のプロジェクトからの申請(プロジェクト枠)
は別途行うこととしていますが, それ以外の研究員募
集は本件によることとなります。

1. 若干名
5. (1) 採用: 平成 17 年 4 月 1 日以降
(2) 任期: 3 年
6. 博士の学位取得者または平成 17 年 3 月 31 日(10
月取得の者はその旨記載のこと)までに取得見込み
の者

7. 書類はお返ししませんので, 履歴書および推薦書
以外はコピーで結構です。(1) 履歴書, (2) 研究歴,
(3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別),
(4) 主要論文のコピー, (5) 研究計画書(希望の分
野・勤務地を明記のこと。併願の場合はそれぞれの
計画書), (6) 推薦書(ある場合は添付)
8. 平成 16 年 12 月 24 日(金) 17 時までまでに必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台副台長 観山正見
Tel: 0422-34-3738
e-mail: miyama@th.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「天文台研究員応募書類在中」(〇〇分
野)と朱記し, 郵送の場合は簡易書留で送付するこ
と。
11. 研究員は, 助手の時間単価(期末手当等を含む)
で週 30 時間の給与および交通費が支給されます。

京都産業大学理学部物理科学科教員

1. 教授または助教授または講師 1 名
2. 理学部物理科学科
3. 天文学, または広い意味での宇宙物理学。近い将
来設置予定の教育用天文台において観測・教育ので
きる方が望ましい。
4. 物理科学科専門教育科目の講義・演習, 卒業研究

の指導, 全学共通教育科目の講義, および大学院博士前期・後期課程の講義と研究指導

5. (1) 2005年4月1日以降できるだけ早い時期
(2) 任期なし
6. 博士の学位を有し, 年齢40歳前半までで, 私立大学の現在の状況に理解があり, 教育と研究に情熱をもっている方. また, 高大連携を視野に入れ, かつ地域住民との天体観測などを通じた交流に意欲のある方が望ましい.
7. (1) 履歴書(写真貼付, 連絡先は電子メールアドレスを含む), (2) 研究業績リスト, (3) 主要論文別刷り5編以内, (4) これまでの研究概要と着任後の研究計画(A4判2,000字以内), (5) 京都産業大学における教育に対する抱負(A4判1,000字以内), (6) 照会可能者2名の氏名, 所属, 職名, および連絡先(電子メールアドレスを含む), (7) 外部資金実績報告書, (8) 学位証明書
8. 2005年1月15日(土)必着
9. 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
京都産業大学理学部物理科学科 主任 門 良一
Tel: 075-705-1634 Fax: 075-705-1640
e-mail: kador@cc.kyoto-su.ac.jp
10. 封筒に「教員応募書類在中」と朱書し, 簡易書留で送付のこと. 原則として応募書類は返却いたしません. なお, 京都産業大学についてはホームページをご覧ください.
<http://www.kyoto-su.ac.jp/index-j.html>

海洋研究開発機構地球シミュレータセンター 連結階層シミュレーション研究開発プログラム アルゴリズム研究グループ研究員

1. 連結階層シミュレーション研究開発プログラムアルゴリズム研究グループ研究員3名程度
2. (1) 海洋研究開発機構横浜研究所
(2) 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25
3. 連結階層シミュレーション研究(これまでの研究対象は問いません. 幅広い分野からの応募を歓迎します.)
4. アルゴリズム研究グループの目的は, さまざまな階層間相互作用をコンピュータ・シミュレーションに効果的に取り込むことができる新しい方法論(アルゴリズム)を「地球シミュレータ」を用いて開発し, 多階層システムに潜む複雑なメカニズムを解明するとともに, 次世代の超高速計算機を念頭に置いた新しいシミュレーション研究の可能性を拓くことにあります.
5. アルゴリズム研究グループでは多様な階層システムのシミュレーション研究を展開する予定です. 例えば, 粒子・分子モデル, 流体モデル, 工学モデル, モンテカルロモデルなどを必要に応じて連結した複合シミュレーションや, 大規模なマルチスケールシミュレーションなどがその例として挙げられます. 連結階層シミュレーションは燃焼や反応を伴う複雑流体やスケール間相互作用を含むプラズマ非線形現象, 固体の破壊問題, 相変化を伴うソフトマターや生体ダイナミクスなど自然・工学現象のみならず, 社会経済現象を含むさまざまな複雑現象を理解するために有効な方法論となることが期待されています.
6. このため, 数理・自然科学, 工学, 医学, 経済, 社会科学など幅広い分野から新しいシミュレーション研究を開拓する人材を広く募集します.
5. 平成17年3月1日以降のなるべく早い時期
6. (1) 博士号を取得している者, あるいは平成17年3月31日までに博士号を取得見込みの者, またはこれと同等の研究能力を有する者.
(2) 数値シミュレーション研究の経験の有するとともに, 新しい分野に挑戦する意欲のある者.
7. (1) 研究歴(応募者の研究業績を記したものの), (2) 採用後の業務に関する抱負(新しい連結階層シミュレーションに関する提案など)1通(自由形式), (3) 推薦書2名の推薦者から各1通ずつ(推薦者より直接提出先宛に郵送のこと. 到着期限は応募締切りと同日. 封筒に「推薦する応募者名」を明記すること.), (4) 履歴書1通, (5) 論文リスト1通(査読付き論文とその他に分けること)
8. 平成17年1月11日(火)必着
9. (1) 〒236-0001 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25 海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター 企画調整室
(封筒の表に「研究員応募」と朱筆すること)
(2) 海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター 企画調整室 担当: 花田, 赤根
Tel: 045-778-5761, 5755
Fax: 045-778-5490
e-mail: koubo-esc@jamstec.go.jp
10. (1) 提出書類に不備がある場合, 受理しない場合があります. (2) 提出書類は一切返却いたしません. (3) 採用内定時に健康診断書を提出していただきます. (4) 応募後辞退される場合, 辞退届けを提出して下さい.

11. 詳細につきましては下記を参照して下さい。

URL: <http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/index-j.html> (海洋研究開発機構 HP)

<http://www.es.jamstec.go.jp/esc/jp/> (地球シミュレーションセンター HP)

研究助成

公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金助成公募 (平成 17 年度)

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を書き下記事務局にお送り下さい。

対象: わが国の大学、国公立または非営利事業財団等の研究機関において、自然科学(化学およびそれに関連する物理学・生物学)の基礎研究に従事する若手女性研究者

助成の種類: 山村フェロー: 博士号を取得している若手女性研究員(2百万円)合計数名2年間助成。

申込締切日: 2005年3月31日(木)

申請書: 中央三井信託銀行のホームページからダウンロードして下さい。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先: 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業第二部公益信託課内山村基金事務局

Tel: 03-5232-8911 Fax: 03-5232-8919

noriko_kondou@mitsuitrust-fg.co.jp

平成 17 年度 三菱財団自然科学研究助成 応募要領

1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより、分野間の相互作用によりつぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで本事業は、これらの科学・技術の基礎となる独創的、かつ先駆的研究とともに、既存の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います。

自然科学のすべての分野にかかわる、すぐれて独創的な研究を助成の対象といたします。さらに複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象といたします。

なお、この助成金は研究達成のため十分に活用できるように、その用途をとくに制限いたしません。

2. 助成の概要

(1) 助成金額

総額3億円を予定。1件当たり2千万円以内とし、採択予定件数は40件程度を目処といたします。なお研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも十分考慮されます。

(2) 助成金使途

上記助成趣旨に記載のとおり、制限はありません。通常の設備費、消耗品費、旅費等はもちろん、研究上とくに必要な場合は、研究補助者への謝金等も可(ただし当該代表研究者がこれらすべての運用責任をもつ)とされます。

3. 応募方法

(1) 「助成申込書」の作成

「申込書の内容・書式」は、当財団インターネットホームページにて「財団概要」、「助成応募要領」等共々、これをご参照ください。

URL:<http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp>

4. 応募資格・助成期間・選考方法・結果通知等々については上記ホームページを参照ください。

財団法人三菱財団事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル15階)

Tel: 03-3214-5754 Fax: 03-3215-7168

〈応募期間〉

平成17年1月7日(金)～平成17年2月4日(金)
(期限内に必着のこと)

研究会・集案案内

銀河学校 2005 生徒募集

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所では、天文学をはじめとする自然科学に興味をもっている高校生を対象とした『銀河学校 2005』を開催します。この学校では 105 cm シュミット望遠鏡を使った観測とその結果をもとにした研究を行います。あなたも天文学者を体験してみませんか?

日時: 2005年3月22日(火)～25日(金)(3泊4日)

場所: 長野県木曾郡三岳村 10762-30 東京大学木曾観測所

実習内容: 105 cm シュミット望遠鏡をつかった観測と研究

対象: 高校生 30 名程度(新高校生を含む)

参加費用: 6,000 円(食事代+傷害保険料)

応募方法: 「私が 105 cm 望遠鏡を使って研究したいこ

と」をテーマとした 800 字以内の作文と、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、学校名、学年を明記したものを下記まで郵送下さい。

応募者多数の場合は、作文による選考を行います。

結果は、3月1日(火)までに応募者全員に通知します。

応募締切: 2005年2月15日(火)必着

送付先: 〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

東京大学木曾観測所銀河学校係

問合せ: 東京大学木曾観測所

Tel: 0264-52-3360

URL: <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

*『銀河学校 2005』は、NPO 法人サイエンスステーションとの共催で、「子どもゆめ基金」の助成を受けて活動しています。

会務報告

2005年度内地留学奨学金支給者の決定について(報告)

内地留学奨学金選考委員長 西村昌能

天文月報 2004年7月号で表記の奨学金について募集しましたところ3名の応募がありました。選考委員会で研究計画、奨学金の用途などにつきまして詳細に吟味、議論した結果、下記の2名の方々に付記の金額を支給することに決定いたしましたので、ご報告いたします。

記

- 1) 氏名: 古谷久美子
所属: 主婦 神奈川県
研究題目: 「銀河の衝突過程の計算機シミュレーションによる研究」
受入機関及び指導教官: 国立天文台理論研究部 観山正見

支給金額: 100,000 円

- 2) 氏名: 比嘉義裕
所属: 自営業 宮城県
研究題目: 「流星痕の輻射点高度別および母流星絶対光度別形態分類」
受入機関及び指導教官: 国立天文台広報普及室 渡部潤一
支給金額: 100,000 円

以上

その他

「第46回科学技術映像祭参加作品募集」

科学技術に関する優れた映像作品を募集。部門は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」。参加資格は日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、および個人が製作した作品で、2004年2月1日～2005年1月31日までに完成または放映したもの。

3月中旬に内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞14作品を発表。

応募締切: 2005年1月31日

●問合せ先: 科学技術映像祭事務局(日本科学技術振興財団内)

Tel: 03-3212-2454 Fax: 03-3212-0014

URL: <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

訂正

2004年12月(第97巻12号)の雑報に一部誤りがありました。739頁でプルコボ天文台のアレクサンダー・ステパノフ氏を前会長と紹介しましたが、同氏は現在の会長です。お詫びして訂正致します。

(本田輝政)

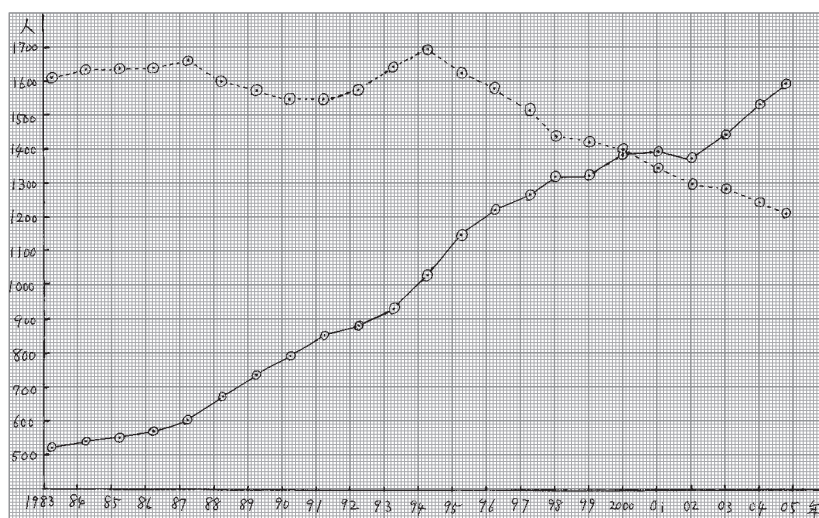
星空市場

天文学会会員数の推移

「天文月報」から拾い出した、最近22年間の会員数の増減を図に示す。実線は正会員、点線は準会員の数である。1997年に新定款に移行するまでは前者は特別会員、後者は通常会員と呼ばれた。図には団体会員、賛助会員は含まない。

正会員の急増は、最近の天文学が非常に魅力あるものとなったことの証拠であろう。準会員の漸減は、天

文学が高度に専門化して理工系の会員ですら会報がたやすく読めなくなってきたことの反映かもしれない。「天文月報」への投稿者には読者層を意識して執筆して下さることをお願いするとともに、一方、読者も天文学普及書・天文学辞典・現代用語年鑑などによって理解力をつける努力を怠らないようにしたい。



学会会員数の推移。実線は正会員（または特別会員）、点線は準会員（または通常会員）の数を示す。横軸の目盛りは年初を示す。

佐藤明達（東京都）

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
 平成16年12月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
 定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2004年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)